

2月号

コート取り当番クラブ

担当月	コート取得月	担当クラブ
2月	3月分のコート	萩山B
3月	4月分のコート	諏訪A
4月	5月分のコート	諏訪B

発行責任者
 会長 松井貞二
 住所 東村山市
 恩多町
 5-1-1

第12回運営委員会報告
 2002. 1. 6 スポーツセンター

今月のコート情報

久米川コート

曜日	時間	練習日
土曜日	9:00 ~ 17:00	2日 9日 16日 23日
日祝祭	8:00 ~ 17:00	3日 10日 11日 17日 24日
早朝 (恩多コートDE)		
土曜日	7:00 ~ 9:00	2日 9日 16日 23日
日祝祭	7:00 ~ 9:00	3日 10日 11日 17日 24日

東村山高校

23日	9:00 ~ 13:00	美住	13:00 ~ 17:00	恩多
24日	9:00 ~ 13:00	萩山	13:00 ~ 17:00	青葉

7中申し込み (13:00 ~ 16:00)

申し込みの日程及び使用予定は次の通りです。
 2月 3日 技術部
 2月10日 萩山
 2月17日 諏訪
 2月24日 美住
 他団体と申し込みが重複した時は利用できない事があります。

各クラブ報告

萩山クラブ: 1月17日練習会と新年会予定
 午後7中
 恩多クラブ: 12月 8日練習会
 東村山高校 参加4名
 1月12日総会と新年会予定
 6時~ 恩多ふれあいセンタ
 青葉クラブ: 1月13日総会と新年会予定
 6時30分~ 華屋与兵衛
 諏訪クラブ: 12月16日練習会と忘年会
 西武ドーム 20名参加
 1月14日総会と新年会予定
 2時~
 美住クラブ: 12月23日練習会
 西武ドーム 13名参加
 1月 5日総会と新年会 25名参加
 1月27日 7中練習会



松井会長; 明けましておめでとうございます。本年も宜しく。昨年亡くなりました石黒、浅見さんのご冥福をお祈りします。(全員黙祷)



川路副会長; 柳杯ミックスマブルスの会計報告。



会計部報告 (進藤): 1・2月にナイター会費の徴収を行ったが3クラブに未納がある。未納の人は会長にきちんと納めるようにして下さい。



広報部報告 (浜野); 各クラブは広報部員名を連絡して下さい。

コート取り (小池); 特になし



技術部報告 (ト部); 12月15日に技術部会を行い平成13年度のまとめと14年度方針を審議した。

- ① スクール生の出席は約30%でした。
- ② 初心、初級スクールの目的は試合が出来るまでにすることですから、すでにその域に達している人の扱いは検討する。14年は3月時点で決定する。
- ③ 平成14年のスクール生は新入の12名を含めて前半31名、後半33名です。
- ④ 技術部員の3名減、3名増で新技術部員は中沢、伊達、和田さんです。
- ⑤ 強化練習スクールの内容が始めた頃と変わってきたので、再度内容について検討する。



事務局長 (若林) ① 1月20日午後1時から市民テ総会を行います。
 ② 会員名簿が会計と違っている部分があるので各クラブで正確な所を教えてください。

- ③ 年末年始のコート使用状況
 あまり利用されていない。具体的数字は
- 12月29日東村山高校: 10名参加
 - 12月30日東村山高校: 12名参加
 - 1月 2日西武ドーム: 35名参加
 - 1月 3日東村山高校: 午前6名参加
 - 1月 5日西武ドーム: (前日雨) 中止

☆ガット300号に寄せて☆

1975年3月30日に創刊されたクラブ機関誌「ガット」が300号に達しました。当時はまだ市民テニスクラブという名称が確立しておらず、東住・恩多テニスクラブ機関誌となっておりました。ワープロ等が普及していない時代でしたので一文字一文字ガリ版切りでの発行でした。初代の編集長は現副会長の武谷直也さんで、年4回の発行となっていました。

その後の編集長を担当された方々は次のようになっております。

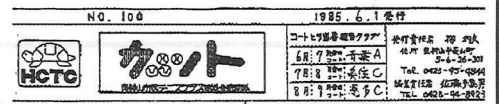
国川哲男	1976年11月20日 (6号)	~1985年2月1日 (11号)
川村英明	1978年3月1日 (12号)	~1985年2月1日 (96号)
佐藤多喜男	1985年5月1日 (99号)	~1987年2月1日 (120号)
黒岩俊雄	1987年3月1日 (121号)	~1996年1月1日 (227号)
太田裕紀	1996年2月1日 (228号)	~1998年1月1日 (251号)
朝倉守	1998年2月1日 (252号)	~2000年1月1日 (275号)
浜野高秋	2000年2月1日 (276号)	~2002年1月1日 (299号)

川村さんから毎月発行に努力され以後毎月発行が定着しております。ガリ版からワープロへ、謄写版印刷からゼロックス印刷へ、と形態は変わってきておりますが川村さん時代の毎月発行は大変なことだったと想像できます。

編集長のなかでは黒岩さんが9年にもわたって努力され現在の発行形態を確立されました。会員の皆様の多大なるご協力、発行者の努力が見事に繋がって300号を迎えられたものと思います。今後もこの勢いを継続していきたいものです。(文責藤岡)



ガット創刊号



祝 ガット100号
60年度下期分会費納入のお願い
私達の機関誌「ガット」は40年前、1975年3月30日に創刊され、今や100号に達しました。この100号に当たって、ご協力いただいた皆様、関係者の方々にお礼申し上げます。

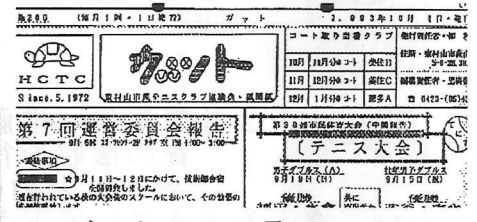
ガット100号

ガット300号おめでとうございます

第3代編集長佐藤多喜男
萩山クラブ(在台湾)



藤岡新広報部長のもと「ガット」の益々の充実と市民テの発展を心から願いたします
2002年1月16日



ガット200号

私が広報部員だったのは、もうかれこれ20年も前のことで、遠い昔の話になってしまいました。当時のガットは、ロウ紙で原版を手書きで作りましたが、インキまみれになりながら輪転機を回して印刷すると言う文字通り3Kの手作りでした。

私自身は、その非日常的な作業と才能豊かな広報部員とガヤガヤやる雰囲気が入り込んでいたもので、余り気にしない方でしたが、正直なところ広報部員と言うのは大変負担の重い役目でした。その後、広報部員の個人的負担を軽減するため部員を増やし、ガットの印刷、配布方法を現行のようにより改善したりして来たとは言っても、今でも広報部員のご苦労に変わりはないことは察して余りあります。

私達一般会員が広報部の方々のご苦労に報いるための最大の行為は「ガットを読む」と言う原稿を「効く」と言うことが7年間広報を担当しての実感でした。

私はもうしばらく休部が続きそうですが、「ガットを読む」ことで広報部を応援させて頂くと同時に「ガット」を通じて市民テのつながりを保って行きたいと思っています。

総会で新任された新しい役員を一部紹介します

会長	松井貞二	副会長	武谷直也 川路俊一
会計部長	★河嶋和興	副部長	★伊藤直美
広報部長	★藤岡信照	副部長	★吉川真
技術部長	★愛甲啓也	副部長	谷古宇勝美 太田康晴 浜良一 阿部昌史 卜部健人
事務局長	★卜部健人	次長	★永江達司
		コート取り	★西村憲治

クラブ会長	恩多	山田哲男	萩山	★大川濃
	青葉	石田勝弘	諏訪	★小武海一善
	美住	★太田康晴		

★印は平成14年新しく役員になられた方々です。新任役員の内情等は次月のガットに掲載します。



平成14年初打ち (1.6)

編集後記

浜野編集長から引継ぎ今後2年間編集をやることになりました。「ガット」は会員を結ぶ大切な使命を持っていることを忘れずに、会員一人一人の顔が見え、沢山の友達を作ることに関心を持ちたいと思います。原稿をお願いしたら積極的に書いていただけることをお願いいたします。

青葉クラブ
新人編集長